

みなさまに信頼される企業であるために

CSRレポート 2007

Corporate Social Responsibility Report 2007



目次.....	P2
.....	P3
トップメッセージ.....	P4
.....	
事業活動と社会的責任.....	
.....	
事業概要 (会社概要)	P6
新・創業宣言	
行動基準 10ヶ条	
.....	
シーレックスグループ「倫理綱領」	
コンプライアンスの推進体制	
コンプライアンスの推進	
コンプライアンスブックの作成と啓蒙	P9
企業倫理相談窓口の設置	
公正な外注取引への取組	
危機管理体制の整備	
.....	
品質保証の推進体制	
2006年度の活動	P11
情報リスクマネジメント	
プライバシーマークの取得	
社員教育	
.....	
2006年度人財育成	
労働安全衛生	
防火・防災対策	
健康管理	P14
メンタルヘルス	
基本的人権の尊重	
地域社会との共生	
.....	
環境保護対策	
チームー 6%	
エコフラッグ	
環境マネジメントシステムの推進	
エコプロダクト・環境配慮型製品	
環境ビジョン2006年度評価	
省エネルギーへの取り組み	
廃棄物の再資源への取り組み	
ゼロエミッションの認定	

お客様に「安心」と「便利」 そして「満足」と「悦び」を提供する企業に

わたしたちシーレックスは、事業活動そのものである“ものづくり”を通じて社会に貢献でき、信頼される企業を志して、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

あらためて当社の歴史を振り返ってみますと、日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売、SR セールスプロモーション)シールの製造及びカタログ販売、多層ラベルの製造販売など過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

私は、シーレックスの使命はお客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する企業となり、事業活動を通じ社会に貢献することだと考えています。

信頼され、必要とされる企業であるために

シーレックスが社会に貢献し信頼され、必要とされる企業であるためには、経済的側面の追求と同時に、社会貢献(地域社会との共生)、環境保全(地球環境との共生)、人権尊重など、社会的・経済的な側面にバランスよく取り組んでいくことが不可欠です。

シーレックスは、創業以来培ってきた伝統と、将来への展望の2つを視野に入れ、2004年に「新・創業宣言」を制定し、実行しております。

私は、シーレックスで働くすべての人々が、この「新・創業宣言」を自分なりに理解し、日々実践していくことが、社会・環境との共生を実現させる道と確信しています。

CSR活動の重点テーマ

「新・創業宣言」は「企業理念」、「経営理念」、「お客様の定義」、「ミッション」、「企業価値」そして「行動基準」から成り立っています。また、2005年9月に「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、すべての役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、企業倫理および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守し行動していくことを宣言しました。

この「新・創業宣言」、「倫理綱領」、「コンプライアンス(法令遵守)」を基本とし、重点的に取り組むテーマを4つ定めています。

人権尊重

環境保護

お客様保護

地域貢献

CSRレポート発刊にあたって

CSRレポートとして2回目の発行となります。不十分な点があると思いますが、現状における等身大の報告として、ご理解いただければ幸いです。

シーレックスは2007年4月から中期計画NEXT50(2007年4月～2010年3月)がスタートします。この中期計画の基本方針を「原点回帰→次の50年を見据えて」と決めました。2010年に設立50周年(創業75周年)の節目を迎えるにあたり、シーレックスの原点に回帰し、シーレックスの強みを徹底的に磨き上げた質的レベルの高度化を図り、次の50年が「輝かしい未来創造」につながるための基盤作りを行ってまいります。

私たちシーレックスは、社会から信頼され、社会の発展に貢献するという高い志をもってCSRに取り組んでまいります。

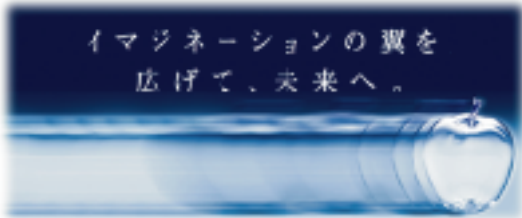
2007年3月

シーレックス株式会社
代表取締役社長

栗原 敦

Seal"+"Extension"="Sealex"

シール印刷の可能性の拡大に向けて加速中です。



商品の顔としてのシール・ラベル。

なくてはならない情報を知らせるシール・ラベル。

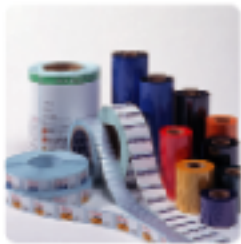
迅速に商品の情報を読みとるためのシール・ラベル。

セールスプロモーションの趣旨を楽しく伝えるシール・ラベル。

シーレックスは、さまざまなシールラベルの開発と進化の全てに関わり、その可能性を拡大させてきました。

社名“Sealex”の由来は“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。

そしてシーレックスは、いま新たな一歩を踏み出しました。つねに商品に魅力的な付加価値をもたらすシール・ラベルの世界を基盤に、人と人とのコミュニケーションを広げる新しい情報発信メディアの世界へ。Imagination(想像力)の翼を身体いっぱい広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させます。



企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

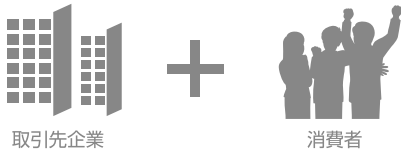
経営理念

経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。



お客様の定義: シーレックスのお客様の範囲・定義



シーレックスのお客様はこれまで実際にご注文を頂いている「取引先企業」が全てでした。しかし、企業の社会的責任の範囲が広がってきたことから実際に我々の作り上げたシールラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の方々まで「お客様」の範囲を拡大することが急務であると考えます。従って、シーレックスの社員には常に「取引先企業」そして「消費者」の方々のことを考えて仕事を進めていくことが求められます。

企業価値: お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア

シーレックスがお客様に提供するべき価値は何なのか？同業他社ではなくシーレックスをお客様に選んで頂くための価値をどこに求めるのか？それは、ただ単にお客様から頂戴した原稿をもとにシールラベルを印刷加工し、お客様に提供するというだけでなく、ラベリングシステムやプリンタといったハードと、キャンペーンシステムや企画広告といったソフトを、ありとあらゆるシールラベルと一緒に、小ロットから大ロットまで、多くの種類を、短納期で、廉価で、24時間、365日提供することが出来る会社です。シーレックスがお客様に提供する価値を一言で言えば、「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準: 社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

【行動基準10か条】

お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。

新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。

何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。

当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。

いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。

ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。

常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。

健やかな地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、地球環境と共生していく。

【環境方針】

常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。

【品質方針】

個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。

【個人情報保護方針】

ミッション: 企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「悦び」を提供する。

シーレックスがこの世に存在する意義は何なのか？シーレックスがこの世に存在し果たすべき使命は何なのでしょう？それは時代時代に移り変わるお客様の要求に応じたシールラベルを提供することによって、お客様の毎日の生活に「安心」と「便利」を提供することであります。また、我々が作り上げたシールラベルの品質、価格、納期などについてお客様に「満足」を提供すること、更にはお客様がシールラベルを見たり、触ったりすることによってお客様の生活に「悦び」を提供すること。それがシーレックスの存在意義であり使命です。



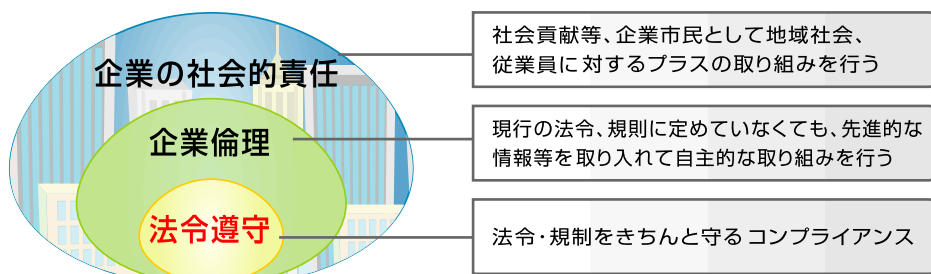
シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

～社会から信頼される企業を目指して～

シーレックスでは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた規範の遵守と位置づけています。2004年に制定した「新創業宣言」には行動基準10ヶ条、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定し、役員および従業員一人ひとりが自己規律をもって、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と浸透を図っております。

シーレックスグループ 「倫理綱領」

私たちシーレックスグループは、公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在でなければならない。そのため経営の根幹となるコンプライアンス(倫理・法令の遵守)の基本を、グループで共有し意識し徹底するために、「シーレックスグループ倫理綱領」を定め、コンプライアンスの徹底に取り組めます。



《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また、自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外の使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行わないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

《従業員との関係》

1 .人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2 .プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3 .ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント(嫌がらせ)につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4 .政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5 .勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6 .会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7 .健康的な職場環境の維持

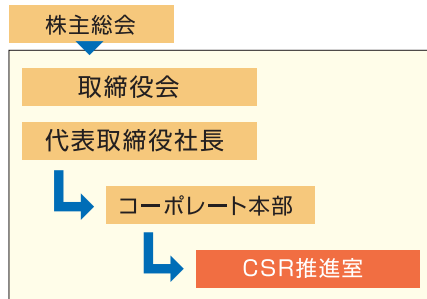
私たちは、健康的で安全で働きやすくかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8 .正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

コンプライアンスの推進体制

シーレックスでは2005年4月にCSR推進室を設置し、行動基準の実践・倫理綱領および法令・社内規則・規程・社会規範を遵守するために周知徹底と教育を行っております。



●コンプライアンス推進体制

コンプライアンスの推進

企業が社会的責任を果たすためには、社員一人ひとりが法令遵守と企業倫理を徹底することが必要です。

コンプライアンスブックの作成と啓蒙

2004年に「新・創業宣言」、2005年には「シーレックスグループ倫理綱領」を制定しました。これらを確実に実践していくために、シーレックスグループで働く全員が、知らなくてはいけない、そして絶対守らなければならない、主要な法令を中心にした「コンプライアンス(法令遵守)ブック」を作成し、周知徹底を図りました。

法令・規制をきちんと守る(コンプライアンス(法令遵守))

現行の法令、規則に定めていなくても、先進的な情報等を取り入れて自主的な取り組みを行う(企業倫理)

社会貢献等、企業市民として地域社会、従業員に対するプラスの取り組みを行う



コンプライアンス(法令遵守)ブック

企業倫理相談窓口の設置

シーレックスでは2006年7月に「シーレックス株式会社 企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、内部通報制度を開設し、運営を継続しています。通報を受け付ける窓口を「CSR推進室室長」、社員だけではなく、パート・アルバイト・派遣及び関連会社の従業員ならびに取引事業者の従業員が利用できます。

万が一、法令・社会規範・会社規程(ルール)・シーレックスグループ倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに上司、若しくは企業倫理相談窓口につながる仕組で構成され2006年4月施行の「公益通報者保護法」に準拠しています。



企業倫理相談窓口ポスター

公正な外注取引への取組

下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、当社は数多くの協力事業者によりご支援をいただいています。

公正な外注取引の実現に向けて、特に下請法の遵守については、個々の外注取引を管理する窓口部門に対して、教育および情報提供を実施しております。

危機管理体制の整備

シーレックスでは内包する「リスク」について、CSR推進室・IPC推進室が中心となり調査、分析を行い「リスク」に対するマネジメント体制の構築を進めています。

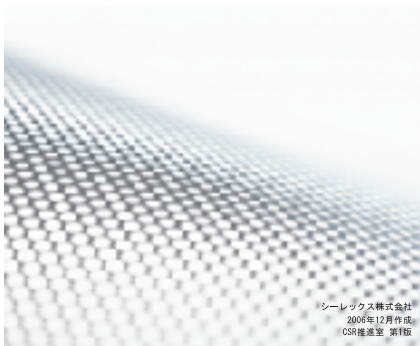
今年度は基幹工場で緊急事態（自然災害、人為的災害で重大な被害が発生した時）が発生した時に人命の安全を最優先し二次災害の防止、得意先への製品供給等をいかにして行うかの手段、方法の検討、「シーレックス 事業継続計画」を制定しました。

2007年度はこの事業継続計画の更なる充実と事業継続計画に基づいた「初動対応フロー」の確認を行ってまいります。



リスク管理「事業継続管理」

事業継続計画 BCP (Business Continuity Plan)



シーレックス事業継続計画

目次

1.前文 事業継続計画策定にあたり

第1章

- 1.目的
- 2.準拠法令
- 3.適用範囲
- 4.主管課
- 5.定義

第2章(基本方針)

- 1.基本方針
- 2.リスクの予見・発生時の行動と心得

第3章(組織)

- 1.災害対策本部
- 2.防災対策班
- 3.災害対策本部の設置および解散
- 4.本社及びグループ企業・関連企業との連携体制
- 5.災害対策本部及び防災組織
- 6.危機レベル
- 7.危機レベル・状況別原則緊急行動基準
- 8.緊急配備体制
- 9.災害対策本部の時系列別所掌・チェック表

第4章(事前対策)

- 1.設備・施設・システムの安全対策
- 2.防災・危機管理訓練
- 3.防災・危機管理教育、意識啓発
- 4.防災資材機材の整備・点検
- 5.災害対策本部用資材の整備・点検
- 6.社員等の住所録等の備え付け
- 7.リスク保険
- 8.従業員等の家庭における防災対策

第5章(緊急対応)

- 1.緊急参集
- 2.緊急配備体制
- 3.緊急配備体制の解除
- 4.緊急参集時・防災対策活動留意事項
- 5.緊急連絡網及び安否確認
- 6.二次災害防止、災害防備活動
- 7.記録・報告

第6章(緊急社会貢献、復旧・復興)

- 1.緊急社会貢献
- 2.復興・復旧

資料編

- 1.機種別・商品別、代替対応先検討
- 2.協力会社一覧
- 3.主な材料メーカー工場
- 4.各事業所別緊急連絡網
- 5.事業所別機械故障時の緊急連絡先
- 6.地震・風水害・火災別の初動対応フロー
- 7.シーレックスサバイバルカード
- 8.備蓄資機材配備一覧表
- 9.非常時参集計画表
- 10.安全行動基本指針
- 11.本社等・緊急報告書
- 12.災害応急対策本部より、指示・連絡・要請書



「お客様へ、つねに最良、最適の品質を提供」をテーマに 妥協のない品質マネジメントシステム(QMS)の構築

シーレックスは、お客様へ最良・最適の品質をご提供するために、全社的な品質保証の強化を推進しています。顧客満足の更なる向上を目的に、『ISO 9001:2000』規格に基づく品質マネジメントシステム(QMS)の維持・改善に全社を挙げて取り組んでおります

品質保証の推進体制

シーレックスの品質保証体系は供給製品自体の要求事項の適合 モノ作りに携わる人々の力量教育 製品を作る上での管理施策 製造に伴う設備機器と環境整備、として顧客満足の向上を目指して、品質マネジメントシステム(QMS)の維持・改善に取り組んでおります。

シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を

指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

2001年 12月 18日 制定



ISO 9001-2000
登録番号 JSAQ1406



JAB
06 Accreditation

JISQ9001: , ISO9001:2000を認証

2006年度の活動

シーレックスが考える「品質保証」は単に生産部門や品質保証部門だけの問題ではなく、お客様へ最良・最適の品質を適正な価格で納期通りにお届けするために、営業・開発、企画から販売・デリバリーに至るすべての工程における品質を保証する考え方で取り組んでおります。2006年度においても、品質マネジメントシステム活動がより有効に機能させるための教育を個人情報(JISQ15001)教育も同時に行いました。

2006年度「教育資料」

CONTENTS					
1	表紙	6	1400環境規格	11	1694自動車
2	スケジュール確認	7	1800労働安全衛生	12	1348医療機器
3	教育とは...	8	PI個人情報保護	13	2200食品
4	規格の種類とその動向	9	2600コンプライアンス	14	当社の業態確認
5	900品質規格	10	TL9000電気通信 +UL/CSA	15.16	監査内容

情報リスクマネジメント

シーレックスは「個人情報保護方針」を掲げ、すべての社員による情報管理の適正な運用、情報取扱いにおける事故撲滅を重点課題として推進しています。

プライバシーマークの取得

シーレックスは2003年にプライバシーマーク(JISQ15001)を全社で取得して以降、管理体制の構築を推進しています。

2005年の個人情報保護法の全面施行を受けて、2006年5月にプライバシーマーク(JISQ15001:2006)に移行されました。それに伴い、シーレックスの規程およびコンプライアンスプログラムを抜本的に見直し、JISQ15001:2006に適合した個人情報保護マネジメントプログラムを構築しました。

社員教育

シーレックスは個人情報保護教育を重視し、個人情報保護方針、個人情報保護規程等を中心に全従業員に教育を推進しました。また、全従業員に配布した「法令遵守ブック」にも記載し、周知徹底を図っています。各事業所個人情報管理者には、JISQ15001:2006に適合した個人情報保護マネジメントプログラムの具体的な運用の研修および勉強会を開催しました。



プライバシーマーク

2006年度「教育資料」

当社規定、記録類					
1	個人情報保護方針	5	情報システム管理要領	12	リスク評価マニュアル
2	個人情報保護規定	6	情報管理一般要領	13	個人情報取扱一般マニュアル
(↑上位文書 ↓ 下位文書 → 記録類)		7	個人情報インシデント管理要領	14	個人情報取扱契約
1	個人情報保護運用要領	8	個人情報関連業務委託管理要領	15	ウィルス対策マニュアル
2	個人情報取扱要領	9	個人情報問い合わせ受付マニュアル	16	直接書面同意書
3	社員情報管理要領	10	個人情報保護文書管理要領		
4	施設設備管理要領	11	個人情報管理関連法令・ガイド		

シーレックス個人情報保護方針

基本理念

当社は以下の内容を当社の事業活動の基本であるとともに、社会的責務であると考えます。

「個人に関する情報(以下個人情報)の価値を尊重し、常に適切な管理と保護の徹底を図ることにより個人情報を保護すること」

当社は、以下の基本方針の確実な履行に努めます。

基本方針

- 1、当社は、個人情報の保護に関する社内コンプライアンス・プログラムを定め、組織体制を整備し役員及び従業員に徹底します。また、これを定期的に見直し、維持・改訂を行います。
- 2、個人情報を収集させていただく場合は、お客様に対し収集目的を明らかにした同意を得た上で、必要な範囲の個人情報を収集させていただき、目的の範囲内で利用及び提供を致します。
- 3、個人情報に関する個人の権利を尊重し、自己の個人情報に対し、開示、訂正、削除を求められたときは、合理的な期間、妥当な範囲内でこれに応じます。
- 4、取り扱う個人情報を安全かつ正確に管理し、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、漏洩、改ざんの予防ならびに是正の為、社内規程を整備し、安全対策を実施致します。
- 5、「個人情報の保護に関する法律」、「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項(JISQ 15001)」、その他の個人情報に関する法令その他の規範を遵守し、個人情報の取り扱いについて十分な注意を払います。

2005年 4月 18日



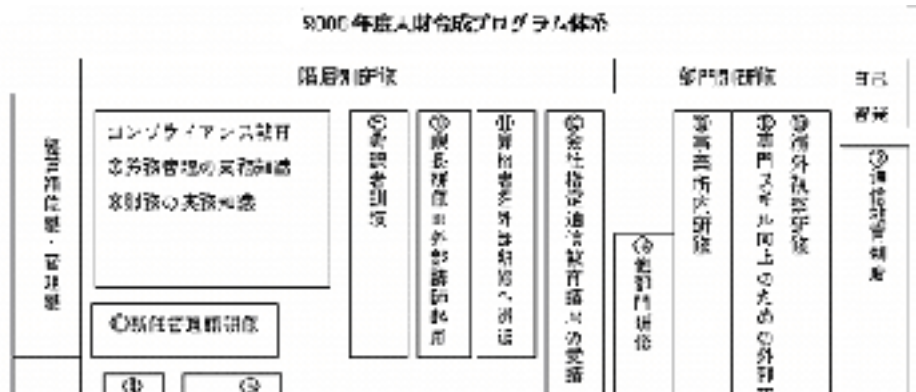
人財の尊重：成果主義に基づく人事施策

従業員を会社の貴重な財産「人財」とらえ、「企業の競争力の源泉は人」、「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考え方で人事諸施策を展開しています。

2006年度人財育成

1. 重点テーマ【ひとづくり】

中期経営計画第3フェーズ重点施策「【ひとづくり】人財育成と社員一人ひとりが生き甲斐と働き甲斐を感じる職場醸成を行う。」に基づき、一人ひとりがプロフェッショナル(匠)として、その専門性を発揮することができるような人財育成を行うとともに、高い目標に向かってチームワークを発揮して挑戦し、やり遂げた達成感や満足感を分かち合える職場を実現します。



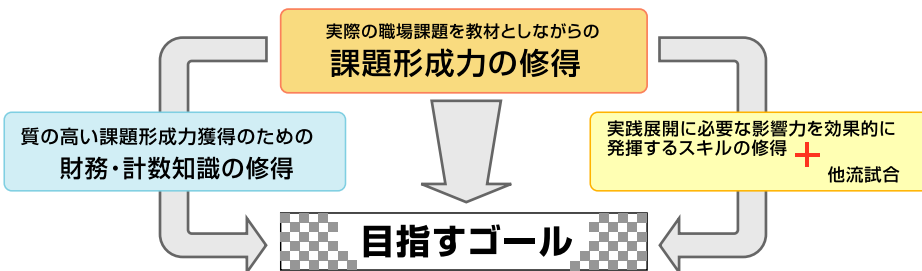
2. 主な取り組み内容

次世代リーダー養成研修

シーレックスの次世代を担うリーダーの育成を目的とし、実際の「職場の課題」を取り上げながら、課題形成力の修得を図ります。受講生は15名で、6回の講義(公開セミナー含む)と社内プレゼンテーションを行いました。

通信教育(自己啓発)の啓蒙の強化

株式会社日本能率協会マネジメントセンターの協力を得て、通信教育のパンフレットを作成し、全社員に配布。受講者数は2005年度の37名を大幅に上回り、253名(修了率81.4%)に達しました。



受講申込ベスト10



1位 ベン字&文章力パワーアップコース	6位 文章力強化コース
2位 Excel(得)テクニック70選	7位 やさしく学べるExcel開数入門コース
3位 新・みるみるうまくなるベン字コース	8位 すぐに使える仕事の英語コース
4位 ビジネス漢字入門コース	9位 年金・税金・保険がわかるシリーズ
5位 よくわかる 現場の改善提案コース	10位 コミュニケーションカステップアップコース

改善提案制度の啓蒙

- ・改善提案の意義
- ・改善提案活動の着眼点
- ・改善提案の進め方
- ・管理者の役割
- ・提案と要望の違い
- ・2006年度の運営(毎月19日を「ひとくふうの日」として啓蒙、年間継続賞の新設)

提案用紙			
所属	社員番号	提出日	
氏名	提出日	年	月 日
提案のタイトル			
提案の分類			
現状又は問題点			
提案の内容			

従業員の安全と健康のために

シーレックスでは、従業員が安全で安心して働ける職場環境を実現させることが、社会的責任を果たすだけでなく、生産性の向上につながると考えています。

労働安全衛生

労使による安全衛生委員会（衛生委員会）を設置し、労働災害の撲滅をめざしています。2006年度は安全のヒヤリハットの意見収集、リスクの洗い出しおよび評価を行い、「安全衛生委員会」の機能充実と労災事故「ゼロ」の実現、「危険ゼロ」への挑戦へ取り組んでいます。

防火・防災対策

シーレックスは自然災害時の従業員及び顧客の安全確保、事業所復旧対応、家族への支援、地域住民への支援を目的として、シーレックス「事業継続計画」を制定しました。

今後、地震発生時の初動動作や安否確認に特化した訓練の実施等に取り組んでいきます。



事業継続計画書

健康管理

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期検診を実施しております。定期検診の受診率100%の達成をめざすことと診断結果に基づく産業医による健康指導を行っております。

メンタルヘルス

従業員の健康対策の一環として、2006年度は外部機関を活用し、「心とからだの健康チェック」をシーレックスグループで働くすべての従業員に実施しました。診断結果をもとに課題と対策を各事業所で実施しました。

メンタルヘルスホットライン（相談窓口）を設置しました。

基本的人権の尊重

いかなる関係者に対しても、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、年齢、身体的特徴などを理由とする差別をいっさい行わないことを「シーレックスコンプライアンス」ブックに明記しています。セクシャルハラスメント、パワーハラスメントについては2006年度もアンケートを行い、結果を管理職に啓発活動を継続的に実施していません。

セクハラ・パワハラホットライン （相談窓口）

株式会社ヒューマンプライム

電話：03-5294-0233

e-mail: info@humanprime.co.jp

メンタルヘルスホットライン （相談窓口）

ウェルリンク株式会社

Self健康相談室

（心とからだの健康相談、

専門カウンセラーが対応します）

電話：0120-556-387 コロミ(テ)ハナソウ

e-mail: support@wellink.co.jp

2005年度に自然災害特に、強度の地震が起こった場合に備え「シーレックスサバイバルカード」を作成し、従業員に携帯することを義務づけました。

第一撃から生き残るための サバイバルカード



サバイバルカードの内容は

- 1.地震発生時初期動作 グラツときたら大声で呼びかける
- 2.揺れが治まってから行動 生き残ったら仲間や隣人を助ける
- 3.家族との連絡災害用伝言ダイヤルの使い方
- 4.家族避難場所・連絡先
- 5.会社への連絡要領 部下から上長に連絡するまず上司へ電話
- 6.災害発生時にかかり易い電話の順番
- 7.災害発生時の携帯電話について（帰宅困難に備えて）iモード災害伝言板利用方法等について列記しています。

地域社会貢献活動

私たちは、良き企業市民として、その地域社会の共生がたいへん重要な活動ととらえています。事業所ごとの活動を紹介します。

地域社会との共生

シーレックスの各事業所は、さまざま活動を通じて地域社会とのコミュニケーションを深めています。事業所周辺の清掃、工場見学や実習生の受入れ、地域主催のイベントへの参加等、地域に根ざした活動を展開し、企業市民として地域社会との共生を図っています。



コミュニケーション

清掃活動／工場見学／防災活動
地域主催行事・イベントへの参加
地域自治会との交流
献血運動／マッチングギフト



東京工場

「足立区門掃き支援活動」
東京工場では毎月2回第2
第4水曜日に周辺約100m四
方を4ブロックに分け、ゴミ
の収集を行っております



兵庫工場

「クリーン但馬5万人大作戦」
兵庫県但馬3市14町で行
われた「クリーン但馬5万人
大作戦」に参加いたしました。



兵庫工場
「国体 ハンドボール会場の
ボランティア活動」



兵庫工場
献血活動



大阪支店
「支店近辺道路の清掃活動」



本社
「レクレーション後の本社
ビル周辺の清掃」



環境マネジメント活動

●国際規格ISO14001:2004に基づく環境マネジメントシステムを構築し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています

～環境マネジメントシステムの構築～

環境保護対策 (地球環境との共生)

シーレックスは創立時の経営理念である「私たちは常に地球環境を念頭におき行動します」を基に、1999年4月にISO14001認証を取得、2005年4月にISO14001:2004をシーレックスグループで取得し、環境保全活動を経営の重要なテーマとして取り組んでいます。

また、2004年度に制定しました新創業宣言に社員の行動基準として「良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動する」ことを明記しました。

2005年度よりチーム-6%GSA(グローバルスポーツアライアンス)に登録し、環境保全活動を推進しています。



ISO 14001 JIS Q 14001を10サイトで認証取得



think environment

環境保護対策社内シンボルマーク

チーム-6%

2005年9月からチーム-6%に法人加入し、企業人、社会人として環境保全活動に取り

組みを促進するためポスターを作成し配布しました。



環境保全活動促進用ポスター

エコフラッグ(GSA)

スポーツ愛好家は、きれいな水と空気、すなわち地球環境の大切さを知っています。そして、未来世代のためにも、開発やビジネスなどの人間活動が自然生態系を破壊し、

環境を汚染しないような新しい社会を創りたいと願っています。そして、そんな強い思いを持った仲間たちが集まって設立したNPOがグローバル・スポーツ・アライアンスです。



GSA岡田常任理事講演



グローバル・スポーツ・アライアンス
<http://www.gsa.or.jp/>

シーレックス環境方針

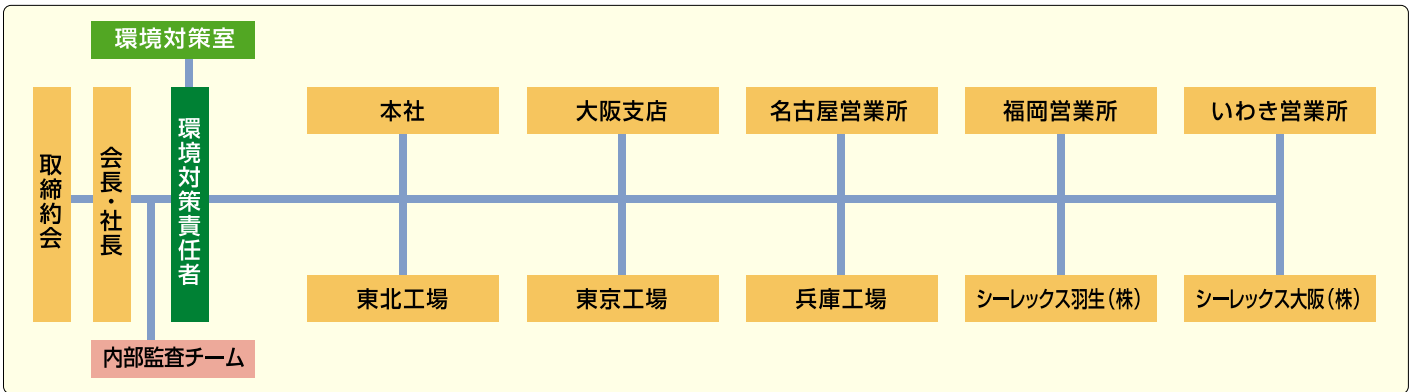
基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、企業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

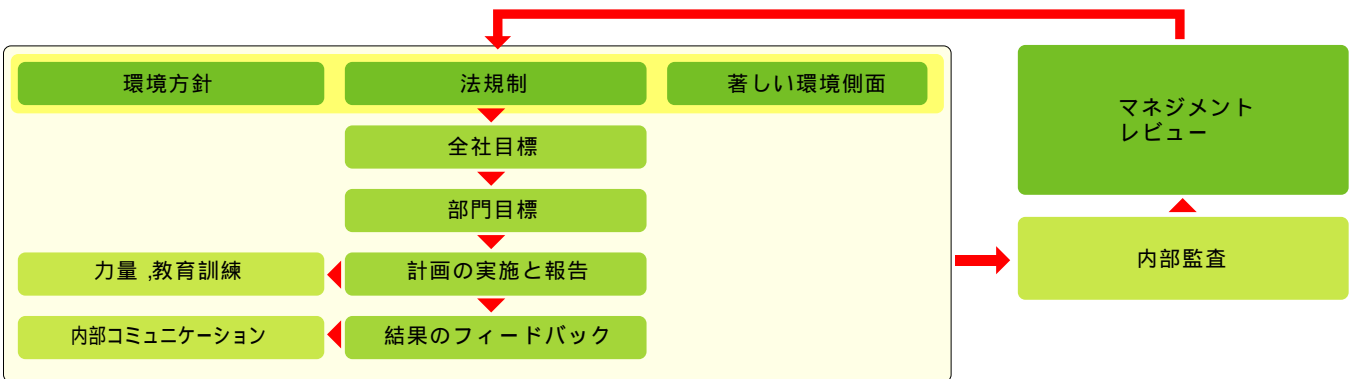
基本方針

- 1.シーレックスは企業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
- 2.企業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
- 3.環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
- 4.企業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
- 5.環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
- 6.環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
- 7.環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
- 8.社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

環境マネジメントシステムの推進



環境マネジメント推進体制



PDCAサイクル

～エコプロダクト・環境配慮型製品～

シーレックスは、企業の社会的責任(CSR)を果たすために、「地球環境との共生」を目的とした環境保全活動に取り組んでいます。再生材料の使用やリサイクル可能ラベルなど、環境への負荷低減に向けた環境配慮型製品をご用意しています。

シーレックスの環境配慮型製品



大豆インキ

石油系溶剤の一部を大豆油に置き換えることにより、揮発時の大気汚染を防ぎ、脱墨性がよく印刷物の再生紙処理が容易になります。環境にやさしい高品質なインキです



生分解性プラスチックフィルムラベル

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています



再生紙ラベル

ラベルと剥離紙の両方に再生紙を使用しています



全離解可能ラベル

雑誌などに綴じ込んでいても、シール本体だけでなく糊や剥離紙ごと古紙として再生処理できます



再生可能剥離紙

ラベルを使用した後に残る剥離紙を、産業廃棄物ではなく古紙として再生処理することができます



サーマルリサイクル

自社工場から出るタックラベルロス紙や剥離紙を固形燃料化し、発電用原料として再利用しています

～環境ビジョン2006年度評価～

シーレックスは環境方針の基本理念を実現させるために、具体的な活動の方針を示しています。

評価基準: 数値化目標については下記の基準で評価

S: 目標を大幅に上回る成果が上がった

A: 目標を十分に達成できた

B: 積極的に取り組んでいるが、目標にいたらなかった

C: 取り組みが不十分

(数字評価は 2006年 6月～12月の実績を基に予測)

方針	目的	目標	評価
法規制の遵守	排水管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	騒音管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	・定期測定の実施 ・遵法制の評価実施	
	使用禁止物質の購入規制管理を継続的に行う	・遵法制の評価実施	
産業廃棄物の削減、リサイクル化	リサイクル化の推進	・リサイクル率を 50% にする ・廃棄物の分別、保管方法の維持推進を行う。	S
	材料在庫を低減する	・材料在庫金額を 2003年度比 50% 削減する	A
	製品在庫を低減する	・製品在庫を 2003年度比 25% 削減する	B
多層ラベルの開発改良及び拡販	多層ラベルの拡販を行う	・拡販活動の実施 ・多層ラベルの販売を拡大する	B
グリーン調達	エコカーの購入を推進する	・全社保有台数の 100% をエコカーにする	B
	グリーン購入を推進する	・グリーン購入の実施 ・グリーン購入基準の改善	A
	リサイクル可能剥離紙の使用推進を行う	・再生可能な剥離紙タイプの材料を客先に紹介する ・使用量を 2003年度比 18% に増やす	S
CO2の削減	電気消費量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 3% 削減する	B
	レスペーパー化の推進	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 3% 削減する	A
	ガソリン使用量の削減	・削減の実施および手法改善 ・2003年度比で 2% 削減する	B

～省資源・省エネルギーをはじめとする 環境負荷削減に取り組んでいます～

生産設備の増強等が大きな要因となり、2006年度のCO₂の排出量は目標を達成することはできませんでした。エネルギー管理を強化し、省エネルギー活動の推進を継続していきます。

省エネルギーへの取り組み

シーレックスは、二酸化炭素 (CO₂)排出抑制を実現するため、省エネルギーに取り組んでいます。2006年度は「二酸化炭素排出量原単位：2003年度比 3%削減」を環境目標に定め活動をしてきましたが、結果は目標未達に終わりました。

外部機関による「省エネルギー診断」も基に、エネルギーの無駄の洗い出しと改善を図り、二酸化炭素排出抑制に取り組んでいます。

廃棄物の再資源への取り組み

廃棄物管理の徹底により、リサイクル率99%を達成しました。関係会社を含め更なる再資源化、廃棄物の減量化、処理費用のコスト削減、有価物化を重要な課題として取り組んでいます。

ゼロエミッションの認定

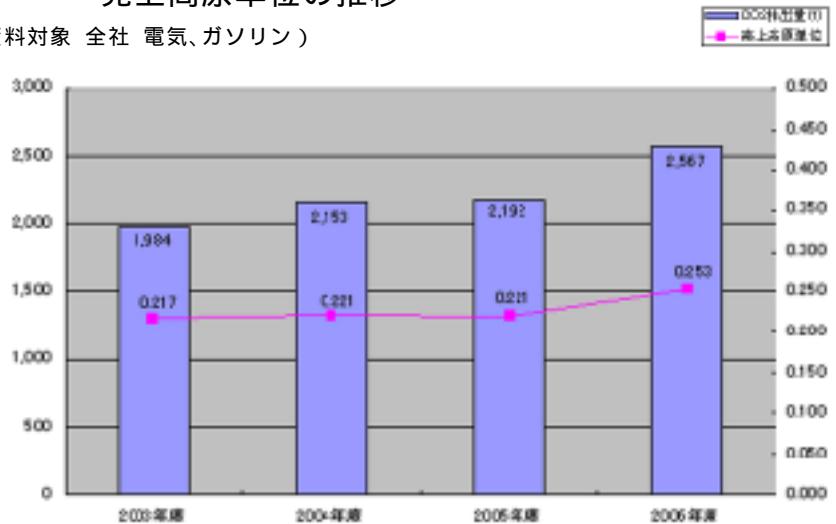
シーレックスでは「再生・再資源化率 (リサイクル率) 98%以上をゼロエミッションと定義し、リサイクルの推進を関係会社も含め取り組んでいます。



ゼロエミッション認定書

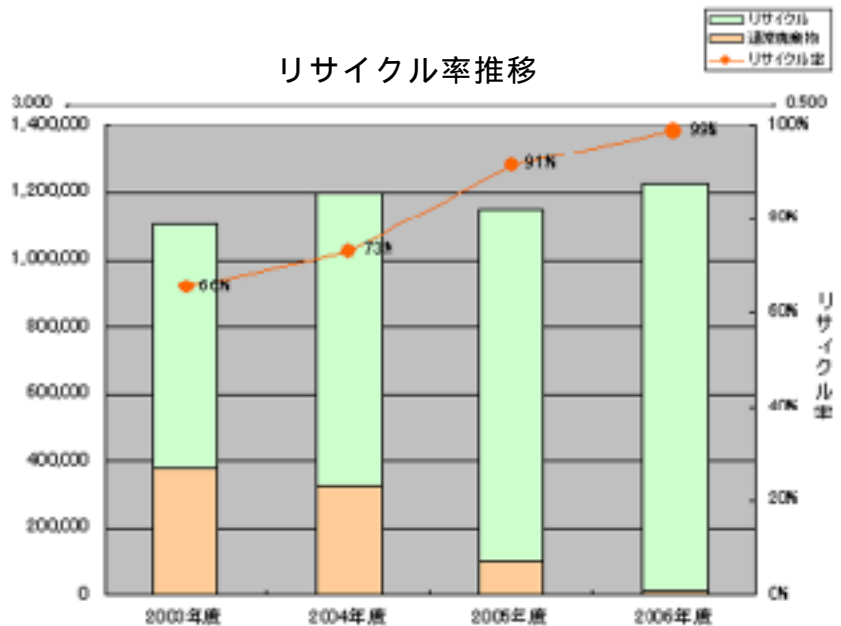
CO₂排出量 / 売上高原単位の推移

(資料対象 全社 電気、ガソリン)



(注)CO₂排出量は環境省に基づき算出
関連会社の数字は含みません
売上高原単位は t/百万円

廃棄物総排出量および最終埋立量 / リサイクル率の推移



(注)関連会社の数字は含みません
通常廃棄物は最終埋立量



シーレックス株式会社 Sealex Corporation
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-11
<http://www.sealex.com/>

お問い合わせ先

本社人事総務部 TEL.03-3862-7246